

# BRUSH & ROLLER



# CAR PAINTING HAND BOOK

ローラー & 刷毛で車の塗り方 ハンドブック

TAKARA TORYO



# INTRODUCTION

はじめに

この度は「刷毛塗り全塗装用塗料」をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

この冊子は、塗装時の手順や注意点等を記載しています。

塗装を始める前に一度、目を通していただき

「必要なモノ、注意すべき点、塗装の流れ」を確認してから、  
手順にそって塗装を始めてください。

## 塗装開始前に必ずご確認ください

### □季節・気温についての注意点

塗料使用に適した気温は20℃前後です。

気温が高い時期や気温が低すぎる時期などに起こりやすい問題は、必ず事前に確認(対処)してから塗装を始めてください。(P8参照)

□板金屋、職人が手掛けたようなピカピカ艶々の仕上がりにはなりません。

□塗料は落ちません、汚れても良い服装で行ってください。

□塗装は換気の良い場所で行いましょう。

□乳幼児の手が届かない場所で使用してください。

□初めて塗料を扱う方は要らない板などで塗る練習をしてから塗装を始めましょう。

□塗料は塗装直前に使う分だけ別の容器に移しましょう。

## 用意するもの

### ローラー (毛丈 4mm程度)

なるべく短毛のものを選びます。

### 手袋

薄手の使い捨てできるもの。

### 刷毛 (50mm)

油性用、水性用がありますので  
ご注意ください。

### 塗料を小分けにする容器

使い捨てできるもの。

### マスキングテープ (24mm)、新聞紙

養生に使用します。

### ブルーシート

車の下に敷いて汚れを防止します。

### 脱脂用のシンナー

ワックスオフを用意します。  
またはラッカーシンナーや  
ウレタンシンナーでも代用できます。

### 耐水性サンドペーパー #600

足付けに使用します。

### うすめ液

使用する塗料によって異なります。(P6参照)

### 非鉄バインダーα

必要な場合は用意する。(P5参照)



# HOW TO PAINT A CAR

## 車の塗り方

Step

### 1. マスキング（養生）



塗装の重要な部分は下準備にあります。大変ですがしっかりと丁寧に下準備を行っていきましょう！車表面の汚れをきれいに掃除します。ほこりや砂が付いている場合は水洗いし、乾燥後ブルーシートなどを車の下に敷きます。簡単に外せる部品は外し、エンブレムやシール類なども可能であれば外します。次に、窓ガラスや窓ガラス周りのゴム部分、ヘッドライト、テールライト、タイヤ、ナンバープレートなどに塗料が付かないようマスキングテープや新聞紙等を使い覆っていきます。

#### 要注意

トラックなどの商用車の場合、最大積載量表示は必須ですので、塗装完了後に忘れないよう手書きまたはシール等で記載してください。



マスキングテープはしっかり密着させるように貼ってください。空気が入り接着があまくなるとテープの間から塗料が垂れキレイな仕上がりになりません。

Step

### 2. 足付け



塗料が定着しやすくなるように、#600の耐水ペーパーで表面を荒らす（やする）作業を行います。表面を荒らすと細かい凹凸ができ表面積が増え塗料の定着が良くなります。塗装部分にワックスなどの油分が残っていた場合、塗料が剥がれる原因になりますので丁寧にやすりましょう。※曇る程度でOKです。



Step

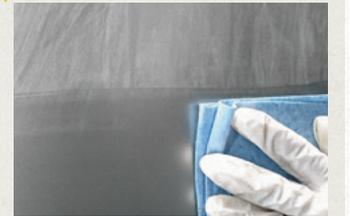
### 3. 脱脂

手袋をはめ、ウエスに脱脂用のシンナーを含ませたらワックスや足付けの際にでたほこりなどを一緒にふき取ります。

#### 脱脂用シンナーを用意していない場合

脱脂用シンナー「ワックスオフ」を別途ご購入ください。2液ウレタンやラッカーの場合はセットになっているシンナーでふいても問題ありません。

point



仕上がりに影響がでますのでしっかりとふき取りましょう。

#### 下塗り

未塗装の黒いバンパーなどの樹脂部分に非鉄バインダーαを塗ります。塗料用の刷毛と併用せず、別に用意して塗ってください。非鉄バインダーαは鉄以外の部分を塗る際、塗料が引っ付きやすくなる接着剤のような役割をしてくれます。また、ホイールを塗る場合にも非鉄バインダーαを塗ってください。その際ブレーキダストなどをよく落としてから塗装してください。



Step

## 4. 塗料の準備

塗料をよくかき混ぜてから使う分だけ別の容器に移してください。  
下の表を参考にし、必要量をうすめて使用します。

塗料の種類	うすめ液の種類		うすめ率		塗料 1 kgあたりの うすめ液の量	
	水	バランサー	5~15%	40~50%	0.05~ 0.15kg	0.4~ 0.5kg
水性塗料	水	バランサー	5~15%	40~50%	0.05~ 0.15kg	0.4~ 0.5kg
2液ウレタン塗料	ウレタンシンナー		20~25%		0.2~0.25kg	
ラッカー塗料	ラッカーシンナー		80~100%		0.8~1kg	

## &lt; 2液ウレタンのうすめ方 &gt;

必要量を別の容器に取り、主剤と硬化剤を4：1の割合で入れてよく混ぜます。その後、混ぜた塗料に対して上記の割合でウレタンシンナーを入れてかき混ぜて使います。硬化剤を入れた塗料は8時間以内に使い切ってください

Step

## 5. 塗装

## 工程 1

広い面はローラーで、細かい部分は刷毛を使います。  
つや消し剤が多量に入っているのでムラが出ないようによく混ぜながら塗っていきます。  
ローラーや刷毛に塗料をたっぷり付けて塗るとムラになりやすいので、塗料は容器のフチでいったんよく拭ってから全体を薄く塗っていきます。



## point 1.

少量の塗料を伸ばして  
全体を塗る

- ・薄くとは、1回塗りでやや透け気味になる程度、かすれるくらいが丁度よいです。
- ・もし付けすぎて垂れてしまったら、乾く前にローラーで伸ばしてください。



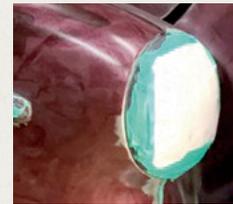
## 工程 2

全体が軽く乾いたら、再度なでるように薄く塗り重ねていきます。塗り重ねる時は必ず乾いてから塗るを繰り返してください。



## point 2.

## 【仕上げ例】



薄く塗り重ねる



完成

## 【きれいに仕上げるポイント】

- ◎塗料は常にかき混ぜること。つや消し剤が攪拌できていないとつやムラの原因になります。
- ◎ローラーや刷毛に塗料を付けすぎないこと。かすれるくらい薄く伸ばして塗り重ねること。
- ◎面倒でも、2回以上重ね塗りをして仕上げること。

Step

## 6. 仕上げ



塗り残しがないか確認が出来たら、乾く前にマスキングテープをはがします。その後、しっかり乾燥させてから外した部品などを取り付けます。走行可能までの乾燥時間は水性・2液ウレタンの場合約2~4時間、ラッカーの場合約1時間になります。ただし水性塗料は1日、バランサー使用の場合は2日ほど雨に当たらないようにしてください。



## point

マスキングテープは乾いてからはがそうとすると、塗料がはがれてしまうことがあります。完全に乾いてしまった後にはがすときはカッターなどで切れ目を入れながら丁寧に行ってください。

## Q &amp; A

## よくあるご質問

**Q.** 初めて塗るのですが、不安になってしまいました。

**A.** 刷毛塗りされる多くの方は普段塗料を使わない初心者ばかりですが、「満足いく仕上がりになった」とのお声をたくさん頂いております。(HP 掲載事例集参照)  
ご不安な場合は、フラットな板などで塗る練習をし、自信を付けてからチャレンジするのもよいと思います。そして今一度、塗り方の手順や注意事項をしっかりとご確認いただき、焦らずに一つ一つ丁寧に作業を進めてください。

**Q.** 塗装する季節、場所によって注意することはありますか？

**A.** 塗料使用に適した気温は20℃前後です。触ると車体がとても熱くなっている場合（直射日光が車体に当たる場所、炎天下で気温上昇の日）や気温が5℃以下の場合、日を改めるか、塗装場所を変えましょう。

- ・気温が高いと乾燥が早くなり、刷毛ムラが消えにくくなるので別途乾燥を遅くするバランサーやリターダーをご使用ください。
- ・5℃以下の場合には乾かなくて垂れたり、水性塗料の場合は、凍結やはがれなどの不具合になる可能性があります。
- ・塗装後一晩は雨や凍結などが起こらない環境で乾燥させてください。失敗しないためにも天候や気温には十分ご注意ください。
- ・より詳しい注意内容を知りたい方はHPの「よくある質問」をご覧ください。

**Q.** サーフェーサーは必要ですか？

**A.** 基本的に刷毛塗り全塗装では必要ありませんが、塗装面がひどく荒れている場合、パテなどで補修した部分にはサーフェーサーを塗った方が仕上がりは綺麗になります。

**Q.** しっかりと薄めて塗装しているのですが、ローラーで塗ると濃い色の筋が出てしまいます。

**A.** うすめすぎて塗料が分離している可能性がございます。塗料を足し粘度を上げて塗装してみてください。

**Q.** 1度塗り目と2度塗り目の間隔はどのぐらい時間をおけば良いのですか？

**A.** 気温が低かったり、厚塗りしている場合は、2時間以上乾かしてください。手順の通り薄く塗っている場合は触って手につかなければ大丈夫です

**Q.** ムラや液垂れが出来ました。修正方法を教えてください。

**A.** 修正したい部分を#300程度の耐水ペーパーで、表面を平らにしてから塗ってください。

**Q.** ラッカーを刷毛で2度塗りする際、1度塗りで塗った塗料が溶けて取れてしまいます。

**A.** シンナーが塗料を溶かしてしまっています。さとなでるように塗ってください。その際、同じ場所を何度も塗らず、1度塗ったら乾かし、乾いたらまた塗るを繰り返すと色がつきやすいです。

**Q.** ローラーで塗っていると凸凹の肌（ゆず肌）になってしまいました。なぜですか？

**A.** 気温が高く、早く乾きすぎてしまっているのが原因かと思います。対策方法をお試しください。

**A.**

1. 適量より少し多めにうすめ液を入れてうすめる
2. 乾燥の遅い希釈剤を使用する（リターダー、バランサー）
3. かすれるくらいの量を塗り重ねていく

**Q.** 仕上げにクリアを塗ったほうが長持ちすると聞きました。

**A.** つや消し塗料の場合、クリアは必要ありません。つや消しのクリアはつや消し塗料と同じぐらいの耐久性しかなく、汚れやキズも付きやすいです。また、せっかく塗った色が白くくすんでしまいます。同じコストをかけるのであれば、劣化したときに同じ色の塗料で塗り直すことをおすすめします。

## Q &amp; A

**Q.** 塗料はどれくらい保管できますか？

A

希釈剤で薄めていない場合、しっかり密閉し冷暗所で保管していただければ1年以上持ちます。また長期保管した塗料はつや消し剤が底にたまりやすいので、へらなどでよくかき混ぜてからご使用ください。2液ウレタンの場合は、硬化剤を入れていない状態が前提です。

**Q.** 吹付け塗装をする場合のうすめ率を教えてください

A

水性で15%、2液ウレタンで45～50%、ラッカーで100～120%の割合でうすめてください。

**Q.** 塗り替え後のメンテナンスはどうすればよいでしょうか？

A

手洗いシャンプー洗車ぐらいにとどめてください。  
※ワックスをかけてしまうと鈍いつやが出てしまいます。水垢などが取れない場合はメラミンスポンジでこするか、そこだけうすく塗り足すのもおすすめです。水性の場合、洗車機との相性が悪いためご利用はご遠慮ください。

**Q.** 耐久性はどの程度ですか？

A

環境によって変わってきますが、ボンネットや屋根の場合、水性は約4～5年、2液ウレタンは約2～3年、ラッカーは約1～2年で変色が見られます。

**Q.** 余った資材の処分方法はどのように対応すればよろしいでしょうか？

A

お手数ですが、各自治体にお問合せください。

その他のお困りごとに関してHPでも多数掲載しております。  
また塗り方のYoutube動画もご用意しておりますので、参考にしてください。

よくある  
質問を見る



YouTube  
動画を見る



# CALL FOR CASE STUDIES

あなたが塗った“塗装写真”を大募集

『brush-carpaint.com』にてあなたの愛車を塗装事例として掲載！  
Before→Afterの写真を添付してご応募ください！



詳しくは下記QRコード、またはHPで詳細をご確認ください！



＼刷毛塗り全塗装《CarMakeUp コンテスト》エントリーも同時募集／  
年間の最もカッコいいお客様塗装事例に贈られるCarMakeUpチャンピオンの称号。  
刷毛塗り事例投稿フォームからエントリーが可能です



**TAKARA TORYO**



株式会社 タカラ塗料

〒557-0063 大阪市西成区南津守4-3-17

URL <https://brush-carpaint.com>

<https://takaratoryo.com>